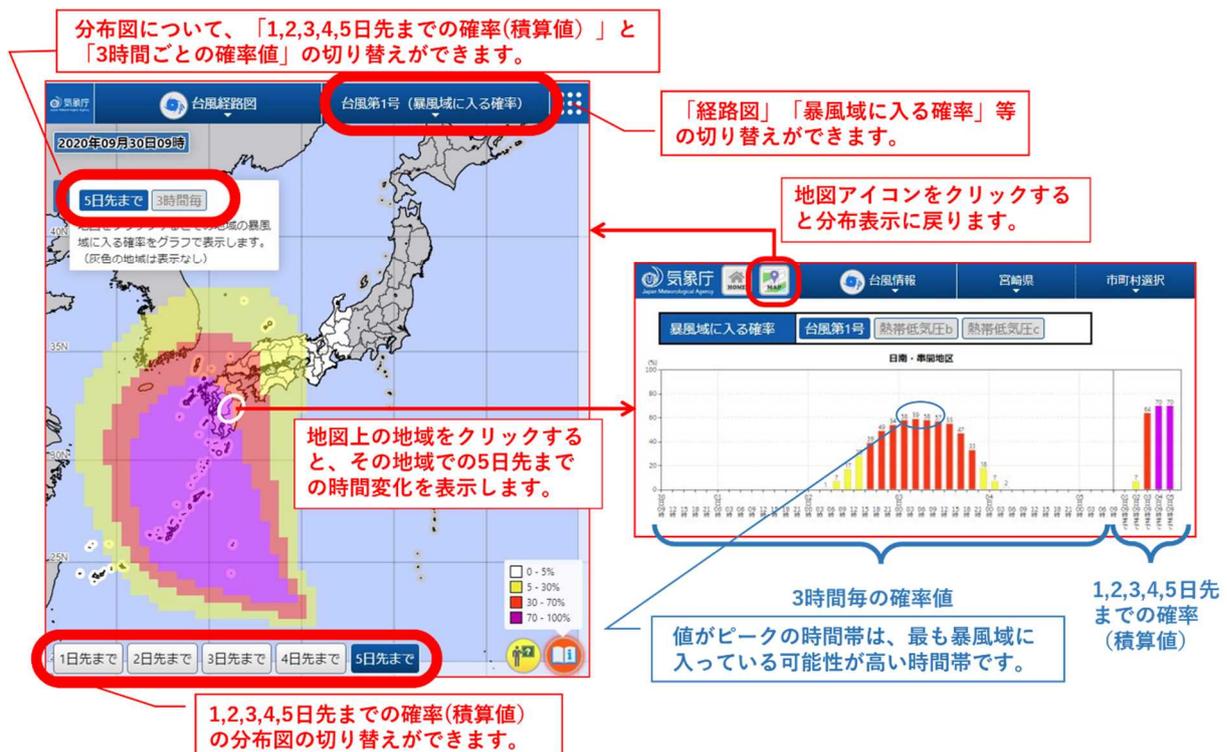


令和3年6月29日  
大気海洋部

## 「台風の暴風域に入る確率」の 発達する熱帯低気圧の段階からの提供開始について

令和3年6月29日より、「台風の暴風域に入る確率」について、台風に加えて、発達する熱帯低気圧の段階からの提供を開始しました。

気象庁では、令和3年6月29日より、「台風の暴風域に入る確率」について、24時間以内に台風が発達すると見込まれる熱帯低気圧の段階から提供を開始しました。気象庁ホームページのコンテンツ「台風情報」では今後、台風及び発達する熱帯低気圧について、確率の分布表示（下の表示例の左図）や地域ごとの時間変化（下の表示例の右図）を表示します。



### (暴風域に入る確率のご利用にあたっての留意点)

情報の発表時刻から先の時間の予報になるほど誤差が大きくなります。このため、台風が離れているときに暴風域に入る確率が低いと予想されている地域であっても、時間が進み台風が接近するにつれて確率が高くなる場合があります。確率の変化傾向やピークの時間帯に注目し、常に最新の予報をご利用ください。

なお、経路図の更新は一日8回(1, 4, 7, 10, 13, 16, 19, 22時頃<sup>※</sup>)、暴風域に入る確率の更新は一日4回(4, 10, 16, 22時頃<sup>※</sup>)です。

※ 台風や発達する熱帯低気圧の数によって前後することがあります。

【問合せ先】気象庁大気海洋部気象リスク対策課

アジア太平洋気象防災センター 笠原 電話03-6758-3900(内線4232)